



# 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員グループ管理担当氏名) 土井 義人 TEL 03-6403-5710

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	32,354	17.3	3,763	13.8	3,837	13.2	1,776	△ 8.2
26年8月期第3四半期	27,583	9.3	3,307	0.5	3,390	0.7	1,934	△ 26.5

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 2,212 百万円 (6.6%) 26年8月期第3四半期 2,074 百万円 (△24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	95.23	—
26年8月期第3四半期	102.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	30,066	13,744	43.7
26年8月期	24,994	13,195	48.4

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 13,139 百万円 26年8月期 12,574 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	-	25.00	-	30.00	55.00
27年8月期	-	15.00	-	-	-
27年8月期 (予想)	-	-	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,685	15.8	4,946	15.7	5,066	15.9	2,668	10.1	138.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したKOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE.LTD、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE.LTD、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE.LTD 他9社の計12社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、株式会社コンダカビジネスサポートを、当第3四半期連結会計期間末より株式会社ムーンを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更    | 無 |
| ④ 修正再表示         | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期3Q	19,200,000株	26年8月期	19,200,000株
27年8月期3Q	745,360株	26年8月期	245,280株
27年8月期3Q	18,654,656株	26年8月期3Q	18,954,802株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済において、原油安の進行と円安の定着は、輸出の堅調さも相俟って企業収益改善の継続に貢献しており、それらは同時に賃金上昇と相俟って個人消費の回復にも寄与していますが、円安は一方で消費者物価の上昇に繋がり今一つ弾みに欠けております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 【カラオケ】

カラオケ店の大手チェーンへの集約が進み、顧客獲得競争が一層激しくなりつつあるなか、店舗網の拡充により積極的に顧客を獲得していくことと、新しい楽しみ方と新しいサービスを考案し提供していくことにより市場の活性化を図っていくことが、重要であると考えます。

「カラオケ本舗まねきねこ」を中心とした積極的な店舗展開は首都圏に軸足を置きつつあり、その流れの中で神奈川県を中心に店舗展開を行う株式会社ムーンの全株式を相鉄グループより譲受取得致しました。

また、「すきっと会員」とワンカラの「シンガーズクラブ会員」の拡大を図ることにより顧客の固定客化も進めております。

自社開発の「すきっと」は、その機能と顧客志向性が関係各方面から注目され、コンテンツホルダーとのコラボレーション企画などが相次いで行われるようになり、カラオケルームでの新しい楽しみ方の幅を広げつつあります。

当第3四半期連結会計期間末時点でのカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比37店舗増加（新規出店23店舗、株式譲受による店舗取得21店舗、閉店7店舗）し403店舗となり、リニューアルは26店舗行いました。海外店舗数は、16店舗（シンガポール10店舗、韓国6店舗）となっております。

この結果、カラオケセグメントの売上高は174億92百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は11億89百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

#### 【カーブス】

一人一人が正しい運動方法を身につけ習慣づけていくこと、そしてそのような仲間を既存の会員と一緒に増やしていくこと、急速に進展する高齢化社会においてこのような着実な活動を推し進めていくことにより未病率の改善や健康寿命の延伸に貢献していきたいと、事業の拡大に努めております。

そのために、より顧客視点に立った通いやすい店舗網を構築し、一つ一つのクラブを所属する会員にとって成果実感が溢れそしてそれを喜び合えるようなコミュニティに創り上げていくことを目指して、本部と加盟店が一体となって努めております。また、地域住民の健康維持施策や未病治療施策を企画する地方自治体の事業への参画にも取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間末の国内カーブス店舗数は、前連結会計年度末比88店舗増加（増加率5.9%）し1,563店舗（内グループ直営店50店舗）に、会員数は28千人増加（増加率4.3%）し669千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は134億88百万円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益は30億79百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

#### 【温浴】

カラオケ事業で培った店舗営業力（接客サービス力）の発揮と、更なる省エネ化の実現により、一層の収益性の改善と業容の拡大に努めてまいります。カラオケ事業で培ってきた様々なノウハウ、特に社員教育面での人材育成システムを活用し、固定費削減手法を駆使して、温浴施設経営の再生に取り組んでおります。

この結果、温浴セグメントの売上高は11億34百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント損失は84百万円（前年同期比89百万円損失額減少）となりました。

#### 【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は2億38百万円（前年同期比10.6%増）、セグメント利益は1億7百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第3四半期連結累計期間の売上高は323億54百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益37億63百万円（同13.8%増）、経常利益38億37百万円（同13.2%増）、四半期純利益は17億76百万円（同8.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億40百万円増加し、300億66百万円（前連結会計年度末比16.0%増）となりました。

（流動資産）

流動資産は20億66百万円増加し118億79百万円（同比21.1%増）となりました。これは主に、現金及び預金が17億83百万円および受取手形及び売掛金が2億60百万円増加したことなどによるものです。

（固定資産）

有形固定資産は14億54百万円増加し116億11百万円（同比14.3%増）となりました。これは主に、建物及び構築物が9億99百万円および車両運搬具及び工具器具備品が2億42百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は17億67百万円増加し29億53百万円（同比149.1%増）となりました。これは主に、のれんが18億95百万円増加したことなどによるものです。

投資その他の資産は11億48百万円減少し36億22百万円（同比24.1%減）となりました。これは主に、関係会社株式が16億94百万円減少した一方で敷金及び保証金が6億16百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は20億74百万円増加し181億87百万円（同比12.9%増）となりました。

（流動負債）

流動負債は9億22百万円増加し93億1百万円（同比11.0%増）となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が5億4百万円および支払手形及び買掛金が4億3百万円増加したことなどによるものです。

（固定負債）

固定負債は26億68百万円増加し70億21百万円（同比61.3%増）となりました。これは主に、長期借入金が22億12百万円および資産除去債務が2億24百万円増加したことなどによるものです。

負債の総額は35億91百万円増加し163億22百万円（同比28.2%増）となりました。

（純資産）

純資産は5億48百万円増加し137億44百万円（同比4.2%増）となりました。これは主に、利益剰余金が12億13百万円増加した一方で自己株式が9億円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用）

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間より適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,207,439	6,990,764
受取手形及び売掛金	1,825,313	2,085,343
商品	804,419	830,802
原材料及び貯蔵品	146,023	215,173
繰延税金資産	286,638	210,109
その他	1,557,830	1,566,298
貸倒引当金	△14,030	△18,745
流動資産合計	9,813,634	11,879,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,587,032	7,586,172
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	1,593,806	1,836,214
土地	1,965,917	1,965,917
リース資産（純額）	4,816	193,086
建設仮勘定	4,845	29,935
有形固定資産合計	10,156,419	11,611,326
無形固定資産		
のれん	21,186	1,916,945
ソフトウェア	1,110,758	1,029,488
その他	53,640	7,071
無形固定資産合計	1,185,585	2,953,505
投資その他の資産		
投資有価証券	480,872	451,587
関係会社株式	1,720,674	26,537
長期貸付金	495,784	408,651
長期前払費用	92,840	92,181
敷金及び保証金	1,695,051	2,311,531
繰延税金資産	261,723	288,754
その他	38,721	57,657
貸倒引当金	△15,064	△14,580
投資その他の資産合計	4,770,604	3,622,321
固定資産合計	16,112,609	18,187,153
資産合計	25,926,243	30,066,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,385,906	1,789,484
1年内返済予定の長期借入金	1,826,512	2,330,512
リース債務	2,092	84,082
未払金	996,410	884,339
未払費用	867,825	914,097
未払法人税等	1,066,474	635,402
賞与引当金	211,498	120,078
預り金	1,364,073	1,483,601
その他	657,634	1,059,789
流動負債合計	8,378,428	9,301,387
固定負債		
長期借入金	3,403,836	5,616,252
リース債務	2,964	129,901
繰延税金負債	249,015	326,839
資産除去債務	504,129	728,654
その他	192,758	219,822
固定負債合計	4,352,704	7,021,469
負債合計	12,731,133	16,322,857
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	11,944,096	13,157,775
自己株式	△300,139	△1,200,797
株主資本合計	12,621,157	12,934,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,905	26,809
為替換算調整勘定	△52,660	178,825
その他の包括利益累計額合計	△46,755	205,635
少数株主持分	620,708	604,230
純資産合計	13,195,110	13,744,043
負債純資産合計	25,926,243	30,066,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	27,583,374	32,354,367
売上原価	20,065,080	23,827,349
売上総利益	7,518,294	8,527,017
販売費及び一般管理費	4,210,360	4,763,606
営業利益	3,307,934	3,763,410
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,856	16,080
為替差益	24,788	24,119
店舗移転補償金	26,476	—
その他	43,384	96,746
営業外収益合計	106,505	136,946
営業外費用		
支払利息	13,705	22,687
支払手数料	—	24,143
その他	10,097	15,951
営業外費用合計	23,802	62,783
経常利益	3,390,637	3,837,574
特別利益		
固定資産売却益	3,650	9,237
特別利益合計	3,650	9,237
特別損失		
固定資産除却損	80,631	147,281
減損損失	41,326	75,833
店舗閉鎖損失	—	82,186
特別損失合計	121,958	305,301
税金等調整前四半期純利益	3,272,328	3,541,510
法人税、住民税及び事業税	1,275,797	1,504,563
法人税等調整額	△90,464	76,867
法人税等合計	1,185,332	1,581,430
少数株主損益調整前四半期純利益	2,086,995	1,960,079
少数株主利益	152,395	183,522
四半期純利益	1,934,599	1,776,557



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,086,995	1,960,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,865	20,904
為替換算調整勘定	△20,025	231,486
その他の包括利益合計	△12,159	252,390
四半期包括利益	2,074,835	2,212,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,922,440	2,028,948
少数株主に係る四半期包括利益	152,395	183,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	14,542,311	11,660,963	1,164,839	215,260	27,583,374	27,583,374	-	27,583,374
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	14,542,311	11,660,963	1,164,839	215,260	27,583,374	27,583,374	-	27,583,374
セグメント利益又は損失(△)	1,168,677	2,506,886	△173,836	96,202	3,597,930	3,597,930	△289,996	3,307,934

(注) 1. セグメント利益の調整額△289,996千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗について41,326千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	17,492,913	13,488,687	1,134,727	238,039	32,354,367	32,354,367	-	32,354,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	17,492,913	13,488,687	1,134,727	238,039	32,354,367	32,354,367	-	32,354,367
セグメント利益又は損失(△)	1,189,120	3,079,425	△84,004	107,569	4,292,111	4,292,111	△528,700	3,763,410

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△528,700千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結会計期間において認識した重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「カラオケ」セグメントにおいて、KOSHIDAKA INTERNATIONAL PTE. LTD.、KOSHIDAKA MANAGEMENT SINGAPORE PTE. LTD.、K BOX ENTERTAINMENT GROUP PTE. LTD.、他9社を、また、当第3四半期連結会計期間末より株式会社ムーンを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,904,033千円であります。